

平成30年度 学校経営計画書

岡山県立岡山芳泉高等学校

1 使命

- (1) 建学の精神である「気宇広大で包容力の大きな人間の育成」に基づいて、心身共に健康で世界で活躍する人材や将来の日本、郷土岡山を担う人材を育成する。
- (2) 岡山学区南部の普通科進学拠点校として、生徒一人一人の自己実現と将来の職業を見据えた進路実現を図る。
- (3) 芳泉の名を冠する教育施設や文化施設等が多く立地する地域にあつて、その中核として地域との連携を図り、青少年の健全育成に努める。

2 校訓と教育方針

校 訓	教 育 方 針
鍛 練	○目標に向かって鍛練し、日々勉学に精励する人物を育てる。 ○自己を鍛え、心身共に健康で将来の社会に貢献する人物を育てる。
節 度	○豊かな知識と高い教養を備え、情操豊かな節度ある人物を育てる。 ○敬愛の精神と広い心を持ち、礼節を重んじ品格ある人物を育てる。
創 造	○積極的に新しい知識を取り入れ、未来を切り開く人物を育てる。 ○合理的な判断力を持ち、創造的に実践する人物を育てる。

3 目指す学校像

- (1) 高い教養と探究心を身に付け、一人一人の進路実現を図る学校
- (2) 学習や学校行事、部活動を通して人間力を高める学校
- (3) 人権意識が高く自他を尊重し、公共心や規範意識が高い学校
- (4) 保護者、地域住民等との連携を進め、信頼される学校
- (5) 教職員の協力体制が整い、組織が活性化している学校

4 育てたい人間像

- (1) 公共心や規範意識等を身に付け社会に積極的に貢献する人材
- (2) 世界で活躍するグローバル人材と地域を支えるローカル人材

5 現状分析

- | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○「進学重視型単位制」を活かし、生徒の学力伸長を図る授業選択や少人数授業を実施している。
○生徒の進路実現を図り、県下でトップクラスの国公立大学及び私立大学の合格実績をあげている。
○進学校ながら部活動や生徒会活動も活発で、高い次元の文武両道を目指す明るい校風である。
○岡山市南部に位置し、広範囲からの通学が可能な岡山学区南部の進学拠点校である。
○保護者、同窓生、地域住民が学校の教育活動に協力的で、全面的に支援する気風がある。 |
| ●生徒は総じて真面目で堅実だが、積極性やチャレンジ精神にやや欠ける面がある。
●一人一人の進路実現を図るなかで、高みを目指す意識付けをする必要がある。
●広報活動の効果を検証し、学校の持つ魅力が的確に伝わる工夫をする必要がある。
●働き方改革の視点に基づく校内組織等の整備が必要である。
●グローバル人材育成や高大接続改革など、時代の変化に対応した学校づくりを進める必要がある。 |

6 本年度のスローガン

◎「たくましい知力を備えた人材の育成」

中期目標として、次の3点の達成を目指す。

- (1) 進路実現に向けて、学力向上の取組を改善する。
- (2) 変化する社会に対応できる能力を育成する。
- (3) 意欲の高まる快適な環境をつくる。

7 具体的な取組

(1) 進路実現に向けて、学力向上の取組を改善する。	○次期学習指導要領の考えを取り入れたカリキュラムの開発 ○国際バカロレア教育の研究に基づくアクティブラーニング型授業の開発 ○新しい大学入試制度に備えた体制・仕組みづくり
(2) 変化する社会に対応できる能力を育成する。	○生徒が主体となって企画・運営する行事の実施 ○生徒の成長を促すポートフォリオの指導と活用 ○海外姉妹校と連携した交流プログラムの完成
(3) 意欲の高まる快適な環境をつくる。	○安心して学習ができる生活環境づくり ○協働による組織運営の仕組みづくり ○ワークライフバランスを実現する会議の工夫

8 中核事業（県教育委員会 学校教育活性化推進事業）

国際バカロレア (IB) の教育手法の研究協力校

- IB の教育プログラム等の研究及び、その趣旨を踏まえた教育活動の実践とカリキュラム開発
- 文部科学省による IB のワークショップへの教員派遣、先進校視察による教員の育成